



(写真4) オリーブカーサ (4LDK) の南側リビング。固定棚の壁は左官仕上げの珪藻土漆喰。建物面積 31 坪

ハワイ風のアロハテラスシリーズを3次にわけて販売 (全28区画)。今年1月から地中海のイビサ島をイメージしたオリーブカーサ (OLIVE CASA) を販売開始 (全23区画)。両シリーズ合わせて40区画とし、その後カルフォルニアリゾート、アジアリゾートを展開していく。設計担当者によると、地中海リゾートにモロッコなどの北アフリカ文化を合わせたスタイルがイビサ島の特徴で主に30代の夫婦の好感度が高いという。同社では実地調査も行って、地中海・北アフリカ風デザインのオリーブカーサを発売した。

好評なのは、シーリングファンのついたリビング (写真2、3)。中2階のスキップフロアを吹き抜けにした空間で、特にご主人から好評とのこと。この他にも玄関脇に設けられた土間収納とリビング下部収納に自転車やカヌーが置かれてリビングにつながるなど中2階下の大空間を思い切った趣味の収納にした空間が見られた (写真5、6)。リビングではキッチンをタイル張りにしたり、本棚を珪藻土漆喰にしたりと左官仕事をアクセントにしたデザインが見られた (写真4)。同社では毎年技能グランプリに大工や左官の選手を送り出して上位入賞を果たしており、職人技にも力が入っていた。



(写真5,6) 玄関から入ると左側は土間収納とリビング下部収納。自転車やボードが置かれ、ダイニングにつながる



室内空間

地中海リゾートの新デザイン
中2階のリビングでくつろぐ



(写真2) オリーブカーサの2 (3) L・DKタイプの中2階リビング (7帖)。玄関隣の土間収納・リビング下部収納 (天井高1360mm) の上階に設置。上部はハシゴ付きロフト。同社の住宅シリーズではこれまでプライベートの読書室やパソコン室として用いられることが多かった中2階を、7帖のリビングスペースとした。建物面積 30.5 坪



(写真3)
ロフトから見下ろした中2階リビング

イビサ島の空間デザイン

昨年頃からスペインのイビサ島がナイトレジャーの観光客の人気を集めており、同島で撮影した芸能アイドルの写真集も発売されるなど地中海リゾートに新しい切り口が生まれている。そうしたトレンドを反映して今年から戸建分野でも新しい空間デザインを備えた分譲住宅の販売がはじまった。

JR武蔵野線・越谷レイクタウン駅にほど近い分譲地で竣工したこの住宅。ボラスグループの中央グリーン開発で展開しているパレットコート越谷レイクタウンリゾートの4作シリーズの一つ。昨年の10月には第一弾として



(写真1) オリーブカーサ (4LDKタイプ)